

事業費補助金調査票(表)

補助金名	乾田化事業補助金
------	----------

担当課	経済部 農政課				
科目・事業コード	会計	款	項	目	事業
	01	06	01	02	11 - 10
事業名	水田農業構造改革対策事業				
新規・継続の別	継続				
補助・単独の別	市単				
補助の種類	事業				

R2実施計画額	3,300	千円
R1 予算額	3,300	千円
H30 決算額	2,730	千円
H29 決算額	3,022	千円
H28 決算額	3,001	千円
H27 決算額	2,726	千円
H26 決算額	3,404	千円

事業の趣旨・目的	乾田化事業(暗渠排水工事)を行う農家を対象に、事業に係る経費について補助することにより、転作の推進と水田農業にかかる生産性の向上を図ることを目的とする。			補助対象者	【補助対象者】	成田市内の対象水田において、暗渠排水工事を行う生産調整達成者		
	開始年度	平成	13 年度		【補助対象経費】	・資材費・掘削費等の1/2以内 標準事業費(限度)100千円/10a 補助金限度額50千円/10a		
根拠法令等	(市)成田市乾田化事業補助金交付規則 成田空港騒音地域における補助金等の特例に関する規則			補助率	【補助率】	・対象事業費1/2以内(千円単位) ただし、成田空港周辺の騒音地域内に居住するもので、同地域内の水田を事業施工する場合は50%増 10aあたり補助限度額 50千円(騒音下は75千円)		
留意事項					【国県等の補助率】	市単独補助事業のため、国県等の補助なし		
決算内訳	平成 30 年度決算額等 (単位:千円)			成果指標	成果指標: 交付件数 (単位:件)			
		金額	件数			割合		
	全体事業費	4,583					年度	数値
	うち市補助金	2,730	15			59.6%	平成30年度	15
	うち国補助	0				0.0%	平成29年度	24
	うち県補助	0				0.0%	平成28年度	26
自己負担	1,853		40.4%					

事業費補助金調査票(裏)

項目		担当課確認欄	
公益性	補助事業の趣旨・目的が公益性のある事業に該当する	ウ. 地域の経済・産業の振興, 雇用の促進に寄与することができる事業 に該当	
	市の総合計画に合致する	成田市総合計画の基本目標に掲げる、「元気な農林水産業を育むまちづくり」に合致する。	
必要性	補助事業の趣旨・目的が社会経済情勢や市民ニーズに適合する	はい	米の安定生産、自給率向上という観点から、社会経済情勢や農業者のニーズに適合している。
	類似の補助事業はない	はい	
妥当性	特定財源控除後の市補助率は1/2以下である	はい	近隣自治体では同種の補助事業を実施していないが、乾田化事業を支援し、生産性を向上させ、安定的な生産調整を図る必要があることから、今後も補助水準を維持していく。
	近隣自治体と比較した本市の補助水準	高い	
明確性	個別の規則が整備されている	はい	
	個別の要綱等が整備されている ※規則が整備されていない場合	-	
	要綱等に補助事業の趣旨・目的、対象者、対象経費、算定基準が明記されている	-	
	成田市補助金等交付規則に基づき適正に交付している	-	
有効性	補助金を交付することによる効果を明確に示す成果指標はあるか	はい	交付件数 H28:26件 H29:24件 H30:15件
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	交付件数は減少傾向にあるものの、例年一定の交付実績があり、転作の推進と生産性の向上に寄与している。
補助対象外経費	成田市補助金等交付規則運用方針第10条各号に掲げる経費については、補助対象外としている (補助対象外経費) ・補助事業等に直接関わりのない人件費に係る経費 ・慶弔費及び交際費に係る経費 ・懇親会及び飲食に係る経費 ・慰労を目的とした旅費に係る経費 ・入場料等受益者負担で賄うべき経費 ・団体の資産形成(積立金等)につながる経費 ・その他補助することが適当でない認められる経費	はい	
課題			
最終評価	維持継続		
評価者所見	乾田化事業を実施することにより、水田の水はけが良くなり、転作がスムーズに進められる効果があり、生産調整の達成率向上が見込まれる。効率的な生産調整が行われることにより、労働時間の短縮、作業の効率化、農作業に伴う負担軽減など、生産性の向上が図られることから、今後も継続して補助事業を実施する。		